

## 長野県工科短期大学校教員による DX 講話



### 講演テーマ 「Re：ゼロから始める DX 生活」

- 日時 : 令和 7 年 5 月 19 日 (月) 8 時 55 分～9 時 45 分  
講師 : 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 野瀬教授  
受講者 : 上田千曲高等学校メカニカル工学科 2 年生 40 名  
内容 : DX のマインドセット (本来の DX とは、なぜ DX を行うのか)、  
認知症の祖父のためのケネス・シノヅカ氏の発明 など

### わかったこと・感想等 (学生のワークシートから抜粋)

- ・DX とは、デジタル化しただけでみんなが不幸になっていけばただデジタル化しただけである。デジタル化したうえで社会を変えようとすることを DX であると思った。
- ・今の日本はただデジタル化をしただけで DX をしたと言っていることがわかった。DX は目的をもって現状を変えることが DX である。デジタル技術は 1 つのツールでしかないということがわかった。
- ・今まで DX とは、書類等をデジタル化して効率化する物だと思い込んでいたが講話を聞いて、変えることを目的としているわけではなく使い幸せになることが本来の目的だと知れた。
- ・いろいろな企業の DX をもっと知りたくなったので調べてみようと思いました。
- ・DX の本来の意味、本来の目的について考え、理解することができた。人が幸せになるものをつくりたいと思いました。
- ・DX の意味とか少年の作ったものがすごかったです。僕が「第二のイーロン・マスク」になります。
- ・D より X の方が重い、つまり、人を幸せに変えることが本来の DX であることを知りました。
- ・企業説明等で今後 DX という単語が出てきたら、今回聞いたことを基準に考えていきたい。

- ・インターネットとはなにという質問の答えがとても気になった。
- ・デジタル化が進む世の中でなんでもかんでもデジタルを使う必要はないということがわかった。
- ・DXは技術に過ぎないからそれを頭に入れて考えたいと思った。
- ・今まで「DX」の言葉をよく聞いてきたけれどDXの意味をくわしくは知らなかった。今回のDXの説明で意味、使い方を知ることができた。
- ・ただのデジタル化をしているのはDXではなく、それをふまえて幸せが得られることをDXというのかなと改めて考えた。